

別添1

セーフティーネット

- ・いざという時に頼める人の確保。
- ・退職者会のサポート（育児・育休代替の人材バンク）
- ・専門職の代替職員確保。
- ・支援って何がある？両親以外？

地域での支援

- ・学校が近くにあるか
- ・職場に保育士や看護師を配置する
- ・子どもを預けられる環境。
病中も突発的な場合に・・・
近くに両親がいない時など
- ・職場の近くに保育所があれば良いのでは？
（中病：にこにこ保育所）
- ・ベビーシッター会社が松江にはない
- ・保育所・学童の延長充実
- ・保育所に入りやすいか
- ・放課後児童クラブ不足

子どもの病気の時の対応

- ・病院が近くにあるか
- ・予防接種制度が分からない
- ・病児・病後児保育の充実
- ・ある程度のアウトソーシング（ファミサポ、病後児保育、宅配の食事 etc）を受け入れてほしい

子育ては お金がかかる!!

- ・高校授業料無償化、所得制限の緩和
- ・学校用品・標準服の譲り合い、リサイクル
- ・産休中・育休中の生活費
- ・若手の賃金UP（or 助成？）、貯金。
- ・一馬力では子ども2人が限界
- ・奨学金は貸与ではなく給付に。有能な人材が経済的理由で埋もれてしまう。

子育て中の働き方

- ・仕事のシェア、フォローがない。残業多
⇒第1子の出産に立ち会えず
- ・単身赴任で、妻・子どもが病気になっても、すぐ帰れない。
- ・上司も子育て中で理解がある。
- ・職場参観日
- ・（求）時差出勤&短時間勤務
ex（夫）朝子どもの支度&保育園送り（妻）1h早く出勤&1時間早く退庁
⇒延長保育がいなくなる
- ・特別休暇には証明が必要？
⇒よって年休でいいやになってしまう。
- ・女性の方が子育ての制度が使いやすい環境。
⇒理解されやすい
- ・子作りのための制度がない。
- ・子育てがキャリアになればよいのでは？
- ・時差出勤、短時間勤務≠フレックスタイム
- ・育休中でも仕事に対する意欲
⇒3歳までの保育・休暇（義務化）

職場に余裕を!!

- ・同じ職場にいても隣の人の仕事は解らない。
⇒休みたくても休めない。
- ・忙しい職場を改善して、どの職場でも育児できる環境にする。
- ・制度が良くなっても配属される職場によっては利用できない。
⇒児相では、家庭が壊れてしまうという声
⇒病院などの交替職場も・・・
- ・残業で遅くなった時には子どもは寝ている。
- ・休める時（計画）休めない時（想定外）

情報の共有

- ・子育ての先輩から話を聞くのは本当に役立った。
⇒そういう機会 or 場（netとか）の確保
- ・SNS 子育て掲示板（子ども服いりませんか？）
- ・情報の差（服・定期券）
- ・地域での小児・産婦人科情報

性差の理解

- ・仕事では男女共同参画といっても、昔からの名残で家事・育児が女性の仕事という考えが根底にあることが問題。
- ・女性の負担⇒男女平等と言われ（仕事だけ？）これまで以上に大
- ・女性は仕事もあり家事もありで、とても大変⇒これを男性に理解してもらいたい!!
- ・男女というよりも一つの家で暮らしていく相手としての気遣いが大事!!
- ・男女の役割のフラット化
- ・行動なのか、言葉なのか、心に響くのは？
- ・お互いの呼び名
- ・男性の妊娠体験（理解をいかに深めるか）
- ・早いうちから（結婚前）男女で議論・交流。互いの共感。
- ・早く結婚する気にさせる？卵子は老化する。
- ・子育てに関する先輩の体験談（セミナー）・・・男女の違い
- ・出産適齢期（24～25歳）⇔結婚適齢期
- ・パートナーが喜ぶことは？・・・プレゼント？

男性の 『育児力』？

- ・男性の育休取得（男性）に対する考え方は？
- ・男性の家事参加意識は？
- ・男性の育児関連休業（暇）の取りにくさ
- ・子育ての考え方はどちらに合わせるべきか？
- ・家事・子育ての役割分担はどうやって決めるべき？
- ・仕事（私）、家事（妻）⇒どう役割分担がある？
- ・家事・子どものことについて、普段家にいないのであてにされていない。
- ・（小学校一娘の事）妻に丸投げ。妻が入院したらどうなる？
- ・弁当男子

その他

- ・民法改正（姓名変更）
- ・出会いのきっかけ
- ・自分でする家庭教育

愚痴

- ・週末子どもと過ごせるのは、ほんの少し。
- ・いざとなると子どもは父より母
⇒週末にしか子どもに会えない（単身・残業）
- ・反抗期
- ・妻との関係
自分がやったことに文句を言われる（ex 洗濯物の干し方・・・）
- ・妻のイライラはなぜ・・・？
- ・私の突発残業は許容されず、なぜ何時に帰るか連絡なしでも良いと思っているのか？

第1回PT 意見とりまとめ

- ①KJ法、ブレインストーミングにより、「子育て環境に係る職場・家庭での課題」を出し合い、それを体系化。
- ②多岐に渡る課題・悩み・意見（愚痴）が出された結果、大きく「制度、職場環境、情報」と「ヒトの意識」に区分。

